

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2018年10月9日まで（2008年11月7日設定）	
運用方針	ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、ブラデスコ・アセットマネジメントに、運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーフォンド	ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ブラジルレアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフォンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向、信託財産の成長性等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ブラデスコ ブラジル債券 ファンド（成長重視型）

第16期（決算日：2016年10月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「ブラデスコ ブラジル債券ファンド（成長重視型）」は、去る10月11日に第16期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

ブラデスコ ブラジル債券ファンド（成長重視型）のご報告

◇最近5期の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	6
◇1万口当たりの費用明細	7
◇売買及び取引の状況	7
◇利害関係人との取引状況等	8
◇組入資産の明細	8
◇投資信託財産の構成	8
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	9
◇損益の状況	9
◇分配金のお知らせ	10
◇お知らせ	10

マザーファンドのご報告

◇ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド	11
----------------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落	I R F - M 指 数 (円換算ベース)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期(2014年10月8日)	17,687		10	2.3	320,429.26	4.1	97.7	930
13期(2015年4月8日)	15,479		10	△12.4	282,639.31	△11.8	96.8	888
14期(2015年10月8日)	12,401		10	△19.8	232,338.65	△17.8	98.0	849
15期(2016年4月8日)	12,999		10	4.9	244,159.49	5.1	97.6	836
16期(2016年10月11日)	15,902		10	22.4	299,301.59	22.6	98.0	947

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) I R F - M指数とは、ANBIMA（ブラジル金融資本市場協会）が発表するブラジルリアル建ての国債指数で、固定利付債と割引債により構成されています。

I R F - M指数（円換算ベース）とは、I R F - M指数をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		(参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	I R F - M 指 数 (円換算ベース)	期 騰 落 中 率		
	円	%		%	%	%
(期首) 2016年4月8日	12,999	—	244,159.49	—	97.6	—
4月末	14,215	9.4	265,933.33	8.9	96.2	—
5月末	14,238	9.5	267,273.68	9.5	96.4	—
6月末	14,942	14.9	280,146.35	14.7	96.7	—
7月末	14,995	15.4	281,169.92	15.2	97.7	—
8月末	15,156	16.6	285,362.18	16.9	96.6	—
9月末	15,099	16.2	283,638.52	16.2	96.9	—
(期末) 2016年10月11日	15,912	22.4	299,301.59	22.6	98.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

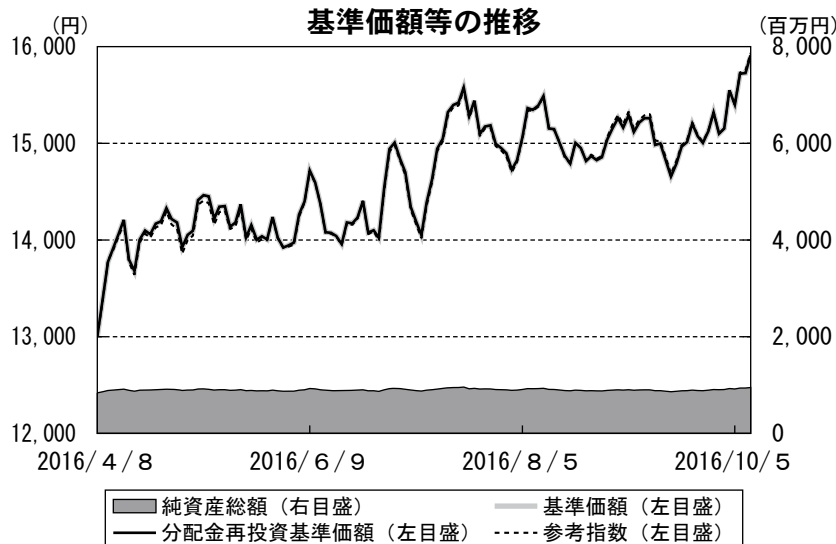
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第16期：2016/4/9～2016/10/11）

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ22.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第16期首：12,999円
 第16期末：15,902円
 (既払分配金 10円)
 騰落率：22.4%
 (分配金再投資ベース)

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

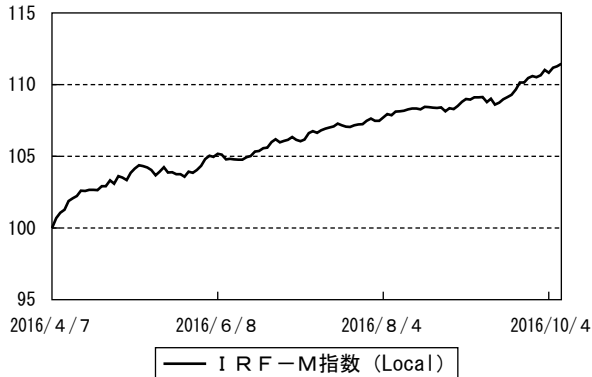
上昇要因

ブラジルリアルが対円で上昇したこと、ブラジル金利が低下（債券価格は上昇）したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第16期：2016/4/9～2016/10/11）

債券市況の推移
（期首を100として指数化）

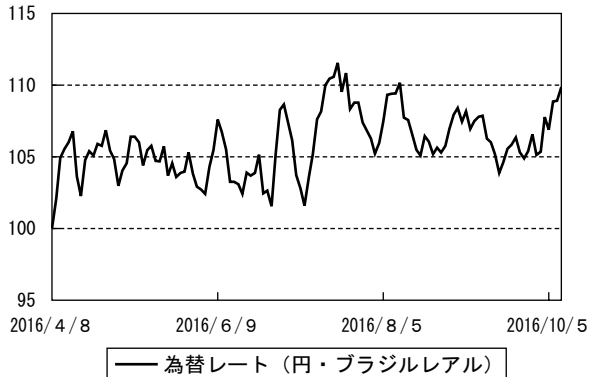


（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・期首から期末にかけては、国内での支持率が低いルセフ大統領が弾劾されるとの観測が高まったこと、実際にブラジル上院で同大統領の罷免が決定したことなどを背景に、経済政策などに対する改善期待が高まったことなどから、ブラジル金利は低下しました。
- ・期を通じて見ると、金利が低下し、IRF-M指数（Local）は上昇しました。

為替市況の推移
（期首を100として指数化）



◎為替市況

- ・期首から期末にかけては、前述のルセフ大統領の弾劾などを背景とする政策改善期待などがブラジルレアルのプラス材料となった一方、ブラジル中央銀行のブラジルレアル安方向への為替介入などがマイナス材料となり、ブラジルレアルは対円で値動きの荒い展開となりました。結果的に、期を通じて見ると、ブラジルレアルは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<ブラデスコ ブラジル債券ファンド（成長重視型）>

- ・主要投資対象であるブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、ブラジルリアル建てのブラジル国債を高位に組み入れた運用を行いました。

<ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド>

基準価額は期首に比べ23.5%の上昇となりました。

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・引き続き、割引国債や固定利付国債の中で流動性が高い銘柄を中心とし、戦略的に一部物価連動国債を組み入れて運用しました。

◎金利戦略

- ・ブラジルの景気減速などを背景にインフレ圧力が弱まるとの見方などから、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）を参考指数対比で長めで維持しました。また、超長期ゾーンの債券を一部組み入れ、デュレーションを長期化しました。
- ・前記の運用の結果、ブラジルリアルが対円で上昇したこと、ブラジル金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。また、金利が低下する中、デュレーションを長めで維持したことは基準価額にプラスに寄与しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション

期首（2016年4月8日）

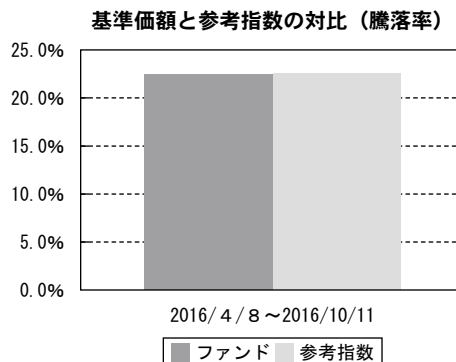
期末（2016年10月11日）

最終利回り	13.5%	→	最終利回り	11.2%
デュレーション	2.2年		デュレーション	2.4年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はIRF-M指数（円換算ベース）です。



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、信託財産の成長性等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 （単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第16期
	2016年4月9日～2016年10月11日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.063%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,365

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ブラデスコ ブラジル債券ファンド（成長重視型）>

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針に基づき、為替ヘッジは行わずに、主要投資対象であるブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、利子収益の確保および債券売買益の獲得をめざす方針です。

<ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・ブラジルでは、インフレ圧力が緩和しつつあること、政府の財政支出削減策が進展すると見ていることなどから、ブラジル中央銀行は比較的早い段階で金融緩和を行う可能性があるかと予想しています。
- ・為替市場では、正式に大統領に就任したテメル大統領の経済政策に対する期待などからブラジルレアルは対米ドルで上昇圧力がかけやすい展開が当面続くと考えられる一方、ブラジル政府やブラジル中央銀行が大幅な自国通貨上昇を容認しないと見込まれることなどから、ブラジルレアルが急激に変動した場合には為替介入などの市場安定化策を実施するとの見方を維持しています。そのため、中期的にはブラジルレアルは米ドルに対しレンジ内で推移すると見えています。なお、米国の利上げが実施された場合にはリスク回避の動きが一時的に強まる可能性に注意が必要と考えます。

◎今後の運用方針

- ・金利戦略では、参考指数対比で長めとしているデュレーション水準を維持する方針です。運用効率を勘案し、割引国債や固定利付国債の中で、流動性が高い銘柄の組入比率を高めとする方針を継続します。

○ 1万口当たりの費用明細

(2016年4月9日～2016年10月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 121	% 0.820	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(57)	(0.382)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(61)	(0.410)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	11	0.077	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(11)	(0.071)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	132	0.897	
期中の平均基準価額は、14,774円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年4月9日～2016年10月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド	千口 18,243	千円 31,000	千口 65,120	千円 108,000

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月9日～2016年10月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年10月11日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド		569,184	522,307	942,713

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年10月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド	千円 942,713	% 98.7
コール・ローン等、その他	12,668	1.3
投資信託財産総額	955,381	100.0

(注) ブラデスコ ブラジル債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(11,951,216千円)の投資信託財産総額(12,258,288千円)に対する比率は97.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ブラジルレアル=32.41円			
------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年10月11日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	955,381,210
コール・ローン等	12,667,933
ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド(評価額)	942,713,277
(B) 負債	8,253,405
未払収益分配金	595,605
未払解約金	223,453
未払信託報酬	7,416,603
未払利息	9
その他未払費用	17,735
(C) 純資産総額(A - B)	947,127,805
元本	595,605,899
次期繰越損益金	351,521,906
(D) 受益権総口数	595,605,899口
1万口当たり基準価額(C / D)	15,902円

○損益の状況（2016年4月9日～2016年10月11日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,523
受取利息	44
支払利息	△ 2,567
(B) 有価証券売買損益	172,891,711
売買益	187,813,048
売買損	△ 14,921,337
(C) 信託報酬等	△ 7,434,344
(D) 当期損益金(A + B + C)	165,454,844
(E) 前期繰越損益金	△ 64,924,371
(F) 追加信託差損益金	251,587,038
(配当等相当額)	(403,749,311)
(売買損益相当額)	(△152,162,273)
(G) 計(D + E + F)	352,117,511
(H) 収益分配金	△ 595,605
次期繰越損益金(G + H)	351,521,906
追加信託差損益金	251,587,038
(配当等相当額)	(404,015,974)
(売買損益相当額)	(△152,428,936)
分配準備積立金	332,493,239
繰越損益金	△232,558,371

<注記事項>

- ①期首元本額 643,387,387円
 期中追加設定元本額 47,756,368円
 期中一部解約元本額 95,537,856円
 また、1口当たり純資産額は、期末15,902円です。

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2016年4月9日～ 2016年10月11日
費用控除後の配当等収益額	42,125,497円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	404,015,974円
分配準備積立金額	290,963,347円
当ファンドの分配対象収益額	737,104,818円
1万口当たり収益分配対象額	12,375円
1万口当たり分配金額	10円
収益分配金金額	595,605円

- ③「ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の35の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2016年10月11日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド

《第16期》決算日2016年10月11日

〔計算期間：2016年4月9日～2016年10月11日〕

「ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド」は、10月11日に第16期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。なお、投資環境等を勘案して、一部、ブラジルリアル建ての国際機関債、政府機関債等に投資する場合があります。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。債券等の運用にあたっては、ブラデスコ・アセットマネジメントに、運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ブラジルリアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 価額	期騰落 中率	(参考指数)		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
			I R F - M 指数 (円換算ベース)	期騰落 中率			
	円	%		%	%	%	百万円
12期(2014年10月8日)	19,415	3.2	320,429.26	4.1	98.1	—	21,028
13期(2015年4月8日)	17,129	△11.8	282,639.31	△11.8	97.6	—	16,212
14期(2015年10月8日)	13,815	△19.3	232,338.65	△17.8	98.4	—	12,554
15期(2016年4月8日)	14,611	5.8	244,159.49	5.1	98.1	—	11,246
16期(2016年10月11日)	18,049	23.5	299,301.59	22.6	98.5	—	12,134

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) I R F - M 指数とは、AN B I M A (ブラジル金融資本市場協会) が発表するブラジルリアル建ての国債指数で、固定利付債と割引債により構成されています。

I R F - M 指数 (円換算ベース) とは、I R F - M 指数をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) I R F - M 指 数 (円換算ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2016年4月8日	円	%		%	%	%
	14,611	—	244,159.49	—	98.1	—
4月末	15,998	9.5	265,933.33	8.9	96.9	—
5月末	16,049	9.8	267,273.68	9.5	97.1	—
6月末	16,872	15.5	280,146.35	14.7	97.2	—
7月末	16,947	16.0	281,169.92	15.2	98.2	—
8月末	17,156	17.4	285,362.18	16.9	97.1	—
9月末	17,113	17.1	283,638.52	16.2	97.5	—
(期 末) 2016年10月11日						
	18,049	23.5	299,301.59	22.6	98.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

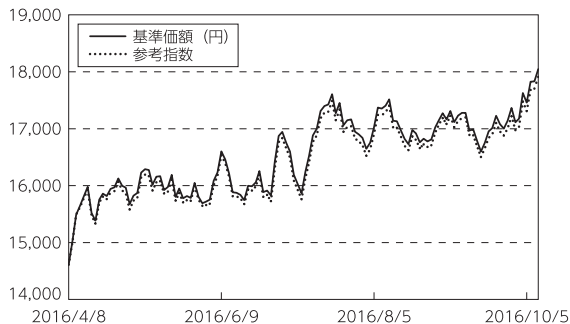
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ23.5%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

- ・期首から期末にかけては、国内での支持率が低いルセフ大統領が弾劾されるとの観測が高まったこと、実際にブラジル上院で同大統領の罷免が決定したことなどを背景に、経済政策などに対する改善期待が高まったことなどから、ブラジル金利は低下しました。
- ・期を通じて見ると、金利が低下（債券価格は上昇）し、IRF-M指数（Local）は上昇しました。

◎為替市況

- ・期首から期末にかけては、前述のルセフ大統領の弾劾などを背景とする政策改善期待などがブラジルレアルのプラス材料となった一方、ブラジル中央銀行のブラジルレアル安方向への為替介入などがマイナス材料となり、ブラジルレアルは対円で値動きの荒い展開となりました。結果的に、期を通じて見ると、ブラジルレアルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・引き続き、割引国債や固定利付国債の中で流動性が高い銘柄を中心とし、戦略的に一部物価連動国債を組み入れて運用しました。

◎金利戦略

- ・ブラジルの景気減速などを背景にインフレ圧力が弱まるとの見方などから、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）を参考指数対比で長めで維持しました。また、超長期ゾーンの債券を一部組み入れ、デュレーションを長期化しました。
- ・前記の運用の結果、ブラジルレアルが対円で上昇したこと、ブラジル金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。また、金利が低下する中、デュレーションを長めで維持したことは基準価額にプラスに寄与しました。

◎今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・ブラジルでは、インフレ圧力が緩和しつつあること、政府の財政支出削減策が進展すると見ていることなどから、ブラジル中央銀行は比較的早い段階で金融緩和を行う可能性があるかと予想しています。
- ・為替市場では、正式に大統領に就任したテメル大統領の経済政策に対する期待などからブラジルレアルは対米ドルで上昇圧力がかけやすい展開が当面続くと考えられる一方、ブラジル政府やブラジル中央銀行が大幅な自国通貨上昇を容認しないと見込まれることなどから、ブラジルレアルが急激に変動した場合には為替介入などの市場安定化策を実施するとの見方を維持しています。そのため、中期的にはブラジルレアルは米ドルに対しレンジ内で推移すると見えます。なお、米国の利上げが実施された場合にはリスク回避の動きが一時的に強まる可能性に注意が必要と考えます。

◎今後の運用方針

- ・金利戦略では、参考指数対比で長めとしているデュレーション水準を維持する方針です。運用効率を勘案し、割引国債や固定利付国債の中で、流動性が高い銘柄の組入比率を高めとする方針を継続します。

○1万口当たりの費用明細

(2016年4月9日～2016年10月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 13	% 0.075	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(12)	(0.071)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	13	0.075	
期中の平均基準価額は、16,689円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年4月9日～2016年10月11日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 43,577	千ブラジルリアル 50,996 (28,090)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月9日～2016年10月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年10月11日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	375,635	368,717	11,950,135	98.5	98.5	16.0	46.3	36.2
合 計	375,635	368,717	11,950,135	98.5	98.5	16.0	46.3	36.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
	国債証券						
		10 (IN) BRAZIL NTN 250101	10.0	36,890	35,561	1,152,548	2025/1/1
		10 (IN) BRAZIL NTN-F170101	10.0	109,645	112,039	3,631,197	2017/1/1
		10 (IN) BRAZIL NTN-F210101	10.0	133,300	132,405	4,291,251	2021/1/1
		10 (IN) BRAZIL NTN-F230101	10.0	8,600	8,401	272,291	2023/1/1
		6 (IN) BR NTN-B I/L 220815	6.0	3,400	10,113	327,789	2022/8/15
		6 (IN) BR NTN-B I/L 500815	6.0	1,810	5,656	183,325	2050/8/15
		BRAZIL-LTN 180101	—	10,170	8,863	287,269	2018/1/1
		BRAZIL-LTN 180701	—	17,860	14,807	479,910	2018/7/1
		BRAZIL-LTN 190101	—	31,600	24,972	809,346	2019/1/1
		BRAZIL-LTN 200101	—	22,360	15,896	515,203	2020/1/1
合 計						11,950,135	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2016年10月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 11,950,135	% 97.5
コール・ローン等、その他	308,153	2.5
投資信託財産総額	12,258,288	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(11,951,216千円)の投資信託財産総額(12,258,288千円)に対する比率は97.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ブラジルレアル=32.41円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年10月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,258,288,430
コール・ローン等	308,153,273
公社債(評価額)	11,950,135,157
(B) 負債	124,070,238
未払解約金	124,070,000
未払利息	238
(C) 純資産総額(A-B)	12,134,218,192
元本	6,722,834,987
次期繰越損益金	5,411,383,205
(D) 受益権総口数	6,722,834,987口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,049円

<注記事項>

- ①期首元本額 7,697,198,735円
 期中追加設定元本額 152,249,153円
 期中一部解約元本額 1,126,612,901円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.8049円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)	5,091,296,313円
ブラデスコ ブラジル債券ファンド(成長重視型)	522,307,761円
ブラジル債券オープン(毎月決算型)	1,059,101,730円
N a v i o ブラジル債券ファンド	50,129,183円
合計	6,722,834,987円

○損益の状況 (2016年4月9日～2016年10月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	639,470,755
受取利息	639,050,960
その他収益金	480,353
支払利息	△ 60,558
(B) 有価証券売買損益	1,875,197,119
売買益	1,876,157,931
売買損	△ 960,812
(C) 保管費用等	△ 8,998,764
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,505,669,110
(E) 前期繰越損益金	3,549,000,347
(F) 追加信託差損益金	102,230,847
(G) 解約差損益金	△ 745,517,099
(H) 計(D+E+F+G)	5,411,383,205
次期繰越損益金(H)	5,411,383,205

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。